

決 裁	委員長	局 長	課 長	課長補佐	係 員	記 録 者
						中村 秀明 印
会 議 の 名 称	総 務 委 員 会 会 協 議			開催月日・令和6年1月22日 開会時間・午前・午後1時30分 閉会時間・午前・午後1時31分		
出 席 者	南谷 佳寛 近藤 伸二 安藤 誠 安井 智子 後藤 國弘 花村 隆					
欠 席 者						
オブザーバー	議長 藤川 貴雄					
傍 聴 者						
説明のために出席した者	堀議会事務局長 藤井議会総務課長 大下議会総務課課長補佐 中村議会総務課主任					
協 議 事 項	1 付託案件の審査 令5 発議第7号 羽島市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について 令5 発議第8号 羽島市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について					

【開会=午後 1 時 3 0 分】

南谷佳寛委員長

ただいまから総務委員会を開会いたします。本委員会へ閉会中の継続審査に付されました議案については市議会タブレット内、総務委員会フォルダに格納したとおりであります。

令 5 発議第 7 号及び令 5 発議第 8 号を一括議題といたします。既に説明、質疑が終わっております。以後、協議会に切り替え、議員間討議を行いたいと考えますが、よろしいですか。

(異議なし)

南谷佳寛委員長

では協議会に切り替え、議員間討議を行います。

【委員会終了=午後 1 時 3 1 分】

【協議会開会=午後 1 時 3 1 分】

南谷佳寛委員長

令和 5 年 1 2 月定例会中に開催されました委員会、全員協議会における委員、議員の発言から、議員定数の問題は全議員、市民にも関わる問題として、全議員で丁寧に合意形成されるべきものであるものと解されています。よって単に定数の多いか少ないかの比較ではなく、羽島市議会の議員定数のあり方の問題として審査すべきものと考えます。お手元にはホームページで公開されています他市議会、瑞浪市における資料などを別紙にてお配りしております。この問題については、第 1 に審査や議員の合意形成、最終取りまとめまでのスケジュール。第 2 に議会基本条例を踏まえて基礎資料や理論構築など、素案作成の考え方、第 3 に意見募集や市民との関係について理解を深め、審査期限であります 3 月定例会までに当委員会におきまして議案に対する一定の結果を出したいと考えております。まず、委員のご意見をお聞きしたいと思います。

花村委員

委員長言われたように、議会のみならず、市民の皆さんにも大変影響が大きい問題なので、慎重に検討するべきであるというふうに考えます。

安井委員

皆さんの意見を聞いた上で慎重に決めた方がいいかなというふうに思っております。

近藤委員

私は前々から議員の数の関係については議員の数だけじゃなくて、政務活動費とか報酬、それからこれは実現しませんけども、議員の年金の国に対する要望ですね、こういったことで皆さんと議論を深めなければならないと思っておりますが、ただ残念なのは、残念という言い方はおかしいですけど、本会議場においてですね、8人と、佐藤議員が維新の会で、賛同されたかたが堀議員ということで、議長を除けば9人と、半数のかたが減らしてもいいということを表舞台でやられたんですけど、本来から言えば、半数のかたがそういった形でやられたということは、その意見も尊重しなければならないと思っておりますが、もう一度過去の羽島市議会の経緯、それから他市の資料がいろいろと詳しく出ていますけど、そういった資料をまず調べて、それから、まだ当選回数間もないかたがありますので、やはりまず羽島市議会がどういう推移で、勉強されていると思っておりますが、羽島市議会がどういう経緯で数を減らして、それから議員報酬も減らして、それから政務活動費についてもこうですよということをまず全議員に報告といいますか、そういった資料を共有する場をぜひ議長に作っていただきたいと思っております。これ要望です。

後藤國弘委員

この総務委員会に付託されたのは、2つの発議があつてのことですので、議員定数の1人削減、2人削減、それから発議ではないですけど、おそらく反対されたかたは現状維持がいいんじゃないかというような意見だというふうに思っておりますので、このことに関して個人的な話を言えば、前回これを議論していた議会改革特別委員会でも発言させていただきましたけど、市民の声を大事にして2人削減を行うべきだという話をさせていただいたんですけど、そういったことでもありますので、この点を含めて、再度、近藤委員が言われたように、みんなでしっかりと話し合うべきだというふうに思っております。

安藤委員

皆様おっしゃられたように、やはりの羽島市議会のことですので、市民にも関わってくることでありますので、やはり丁寧に全員で話し合っ決めていくのが一番いいのではないかと思います。

南谷佳寛委員長

皆様のご意見をお聞きしましたところ、議員全員の意見を聞く機会を設けてはどの方向が見出せたと思っております。委

	<p>員長において、全議員の意見を聞く機会を設けてもらうよう議長に申し出たいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
南谷佳寛委員長	<p>それでは議長へ申し出たいと思いますのでよろしく願いいたします。</p>
後藤國弘委員	<p>委員長言われたように、全員の意見を聞くということは賛成でありまして、意見を聞いて総務委員会で議論することで結論を出すというのは、常任委員会としてはその責務はないと思っていますので、総務委員会から全員の話し合いの方へ移行していただきたいというふうに思っております。</p>
南谷佳寛委員長	<p>そのほかご意見はありませんか。</p> <p>(発言なし)</p>
南谷佳寛委員長	<p>それではそのように議長に申し出たいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>(「その他でいいですか」と呼ぶものあり)</p>
近藤委員	<p>なかなかお会いする機会がないので、発言する機会がなかったんですけど、1月1日に能登の震災がございまして、羽島市からも総務の関係になると思うんですけど、災害の場合、消防とか関係ありますので、ホームページで消防署員を何人派遣したとか、それから保健師さん、それから下水道課の職員1人とか、ホームページで見ればわかるんですけど、あれだけの災害が起きて、過去であれば全員協議会でも開いて、執行部からきちっと報告があるべきだと思います。それと、出初式も急遽中止になったということで、なぜ中止になったか、派遣されているからということでしたけども、その関係で、よそでは出初式を規模縮小してやっているところがありますし、それから団員のかたは自ら率先してその日訓練をやられたということで、私も現場へ行きましたけど、そのときに消防職員が1人だけおみえになりましたけど、なぜああいう形だったか大変疑問であります。そういった震災の関係も含めて、やはりきちっと執行部から、当然これだけの災害であればあると思ったん</p>

ですけど、なかなか開いてもらえないので、議長がちょっと開いていただくように要望しておきます。それから、よそでは既に、私はまだ聞いていないのかもわかりませんが、義援金の関係ですね、義援金の関係も早くよその県議会とか対応して出したということもありますので、その辺も過去に出して、一向に議長から全然その話も全くないものですから、ぜひ一度、議長のほうで全員協議会を開いて、現在羽島市はこういうふうに活躍していますよという場をぜひ作っていただきたいと思います。私、ホームページ見えていますのでわかりますけど、やはり情報共有して、羽島市は何をしているんだという一般市民もありますので、ぜひ全員協議会を早急に開いていただきたい、これ要望です。

南谷佳寛委員長

それではそれも加えて、議長に申し出たいと思います。

藤川議長

議長への要望ということでいただきましたけど、市の災害対応については近藤委員が言われましたとおり、ホームページに案内が出ているということと、現地の状況も日に日に変わっているようでありまして、即時即応と臨機応変な対応が求められているという状況だと認識をしております。その中で、より現地に派遣される職員さんがより活動しやすい状況を考えますと、議会への報告をしていただくことが望ましいんですが、それよりも現地でより活動しやすいようにすることも大事なのではないかというふうに考えておりまして、報告をしてほしいということですけど、報告したけれども現地に行ったら違う活動をしているとか、臨機応変にそれができる余裕があるかどうかも含めて・・・。

近藤委員

執行部からどういうふうに対応しているか聞きたいだけ、お宅の意見聞いたって仕方ない。

藤川議長

私の意見というよりは、そういうより活動しやすい体制を職員さんに提供してあげるようにするということがまず第1だと思いますので、報告できるような体制になったときには報告していただければいいと思っています。今すぐできると近藤委員言われますけど、それができる体制であれば報告していただければと思いますが、できる体制でなければそれは職員さんの活動の現場の状況もあるでしょうから、その辺り配慮しながら対応していきたいと考えております。あと義援金の話もありましたけど、過去の例に照

	<p>らして私も事務局とこの辺りの対応を協議しているんですけども、過去の例に照らしますと、議長会からここの振り込み先にといい、この口座にといいたような、議長会からの要請に応じて羽島市議会としても義援金を拠出していたということがございますので、議長会からのそういった案内を待って対応したいというふうに、もちろんその前に議長会からの案内がありましたら、全議員にその旨を報告し、了解を得られましたらそのように対応したいというふうに考えております。これは過去の例に則ってやりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
近藤委員	<p>執行部からそういう災害対策で聞いたら何かまずいことがあるんですか、議会が。</p>
藤川議長	<p>まずいということは一言も言っておりません。職員さんが報告できるような状況になったときに・・・。</p>
近藤委員	<p>もう報告できるでしょ、帰ってきとる人がいるので。</p>
藤川議長	<p>それも含めてまだ行っているかたもいらっしゃいますから、現にまだ災害は終わっていませんから、災害対応終わっておりませんので、</p>
近藤委員	<p>最初にどういう対応をしているかと報告しないといかん、議会に。当たり前の話や。</p>
藤川議長	<p>適切な時期に適切なタイミングを見極めて、適切なタイミングがあると思いますので、そのように対応したいというふうに考えております。議長に対してこうしてほしいという要望があって、そういった要望を言われた人が議長としてこう考えていますというふうに答えたんです。議長の考えを述べていますので。</p>
近藤委員	<p>議長はどうやってどうやって報告受けておるんですか、詳しく。議長はいつ、きちっとした話を聞いていますか、執行部から。議員に報告しないといかん。</p>
藤川議長	<p>現地の状況が1日ごとに変わっている。</p>
近藤委員	<p>いつ聞いたの、執行部からきちっと。1回も聞いてないの。</p>

藤川議長	そういったお話を聞いております。ただ、1日1日状況が違うので、今こうですというのが・・・。
近藤委員	いつどういうふうに聞かれたんですか、それなら。
南谷佳寛委員長	それが必要なんですか。
近藤委員	必要に決まっとる。
藤川議長	いつかははっきり覚えてないですけど、現地に派遣するという話で、現地どうなんですかということも。近藤委員かどなたか議員が事務局に尋ねられて、事務局としてもその旨答えられたときに、私もその報告を聞いて、現地どういう状況ですかという話のやり取りをしていますので、そのタイミングであったと思います。ちょっとははっきり覚えていないです。
近藤委員	議会できちっと全員協議会を開いて、執行部からそういう話を聞いたらどうですかと言ったんですよ。過去にそういうことありましたよ、災害起きた場合。
藤川議長	適切なタイミングを見極めて、そのような対応ができるようであればそのように対応したいと思います。
南谷佳寛委員長	以上で総務委員会協議会を終了いたします。本日はご苦勞様でございました。
【協議会終了＝午後1時48分】	